

<青少年アンビシャス運動について>

【調査の目的】

「豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つたくましい青少年の育成」を目指す県民運動「青少年アンビシャス運動」は、今年度で20周年を迎えました。運動に参加する団体は1,966団体（R3.7.1現在）となり、放課後や休日に気軽に立ち寄れる子どもたちの居場所「アンビシャス広場」は県内に154か所開設されています。地域ぐるみで子どもを育てる取組は着実に広がりつつあり、さらに地域に根付くよう新たな展開を目指した運動を進めています。

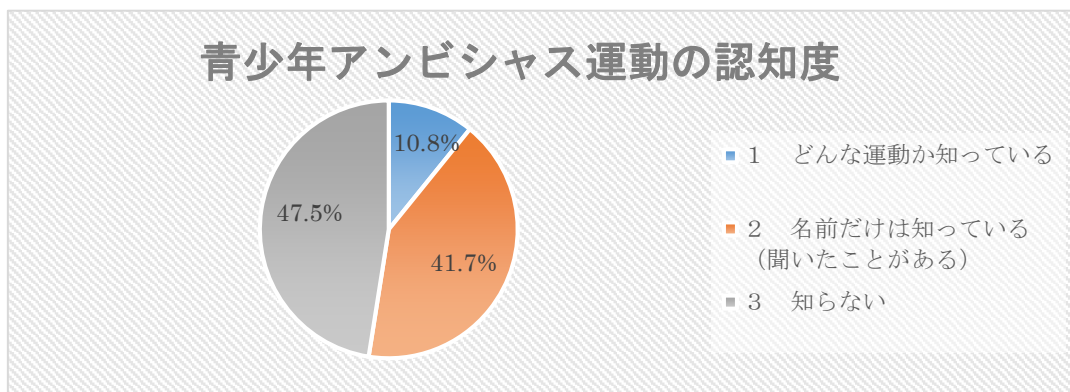
そこで、「青少年アンビシャス運動」について皆さんの御意見をお聴かせいただき、今後、運動を推進するための参考とさせていただきます。

【活用状況】

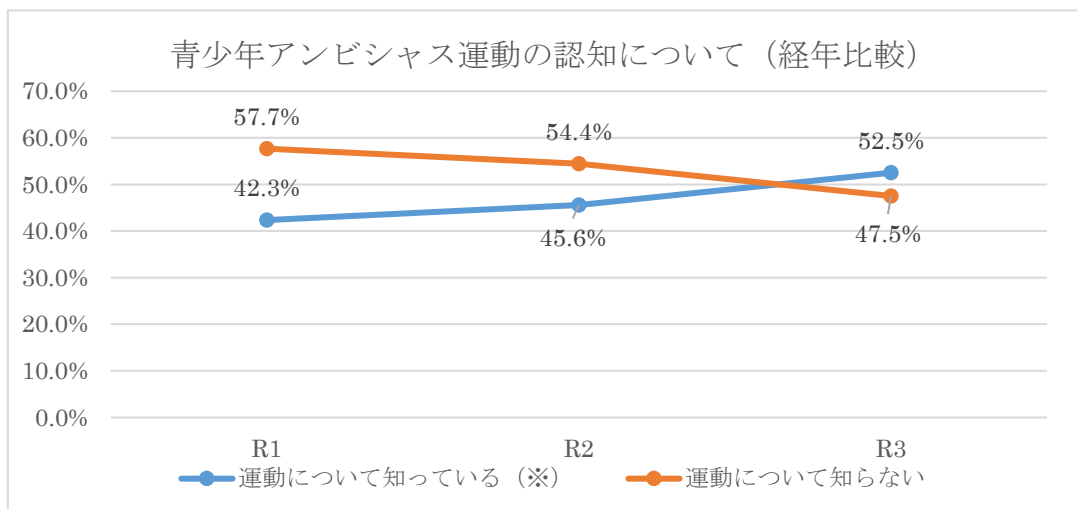
- ・青少年アンビシャス運動の具体的事業等を総合的に検討するための基礎資料とします。
- ・青少年アンビシャス運動の認知度を把握するための参考とします。

（人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課）

<1> 「青少年アンビシャス運動」について知っていますか。【選択/回答は1つのみ】

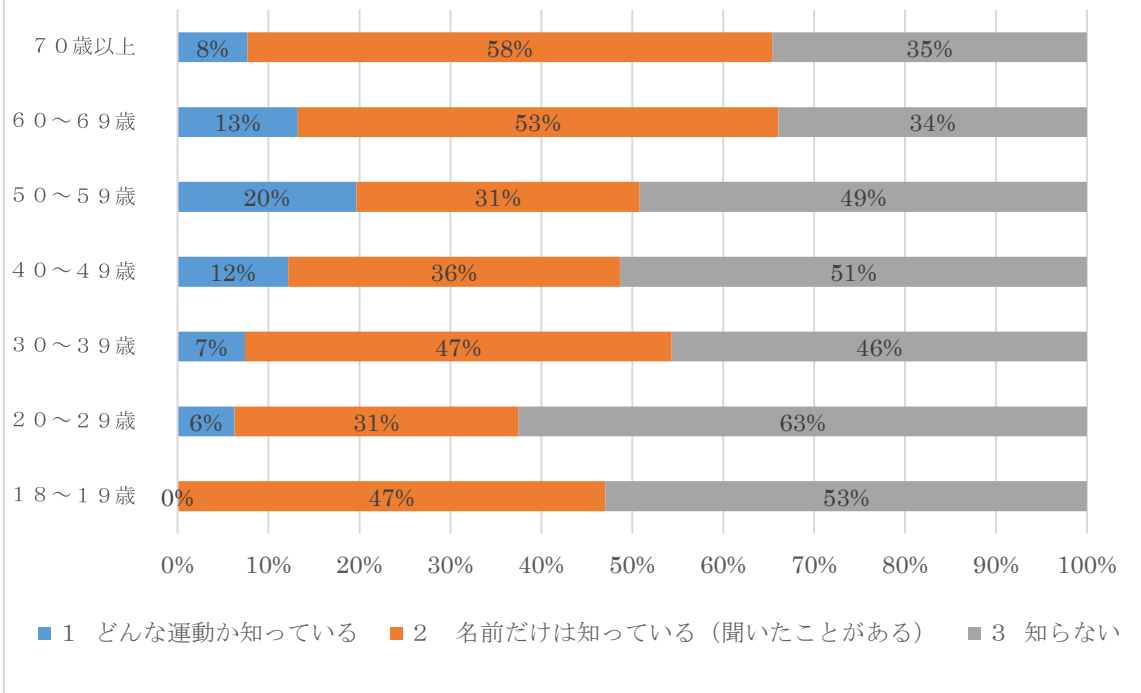


設問	回答数	割合
1 どんな運動か知っている	39	10.8%
2 名前だけは知っている（聞いたことがある）	150	41.7%
3 知らない	171	47.5%
総計	360	100%



※ 「1 どんな運動か知っている」「2 名前だけは知っている（聞いたことがある）」と回答した方の割合

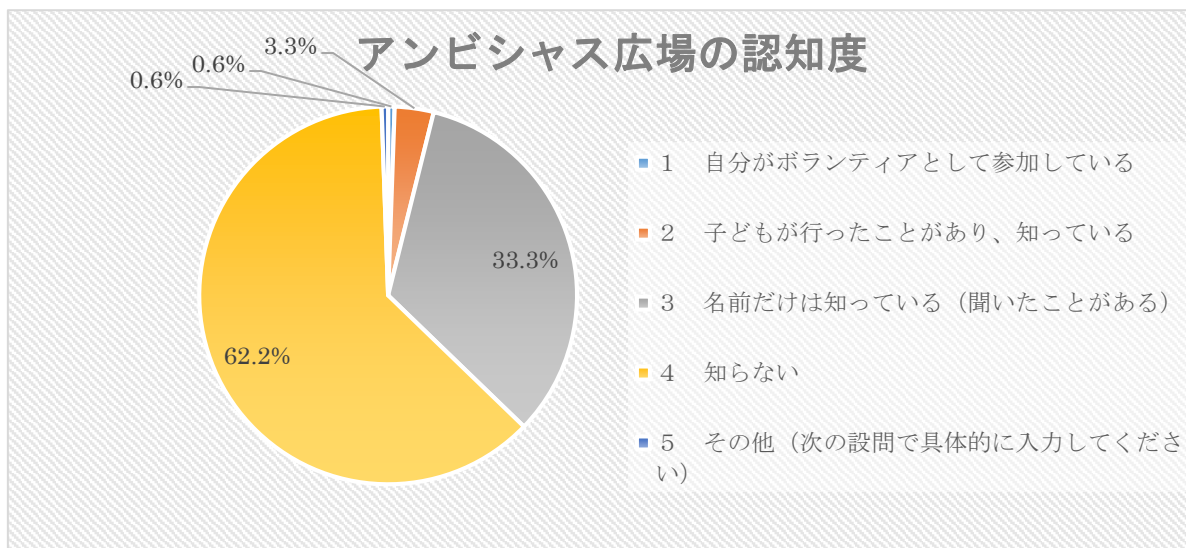
青少年アンビシャス運動の認知度について（年齢別）



○全体では、青少年アンビシャス運動について「どんな運動か知っている」「名前だけは知っている（聞いたことがある）」と回答した方は、全体の52.5%であった。

○年齢別では、70歳以上と60～69歳で「どんな運動か知っている」「名前だけは知っている（聞いたことがある）」と回答した方は66%と他の年齢層と比較して最も認知度が高い。

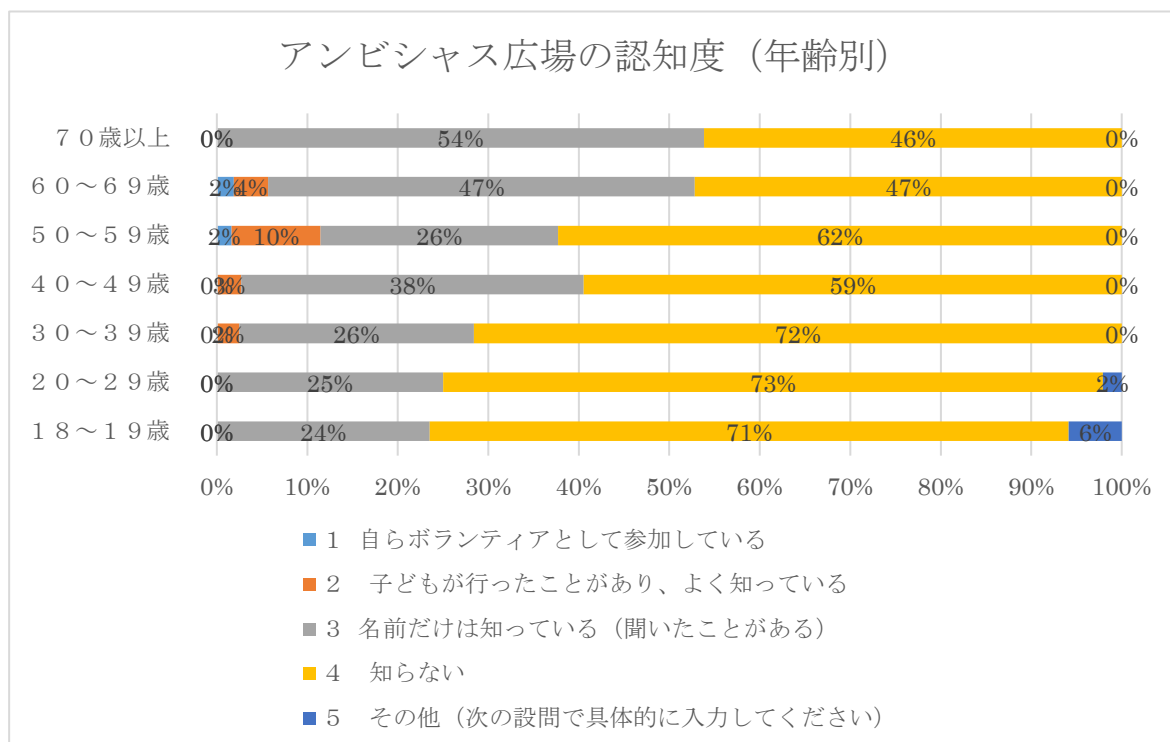
〈2〉「アンビシャス広場」について知っていますか。 【選択/回答は1つのみ】



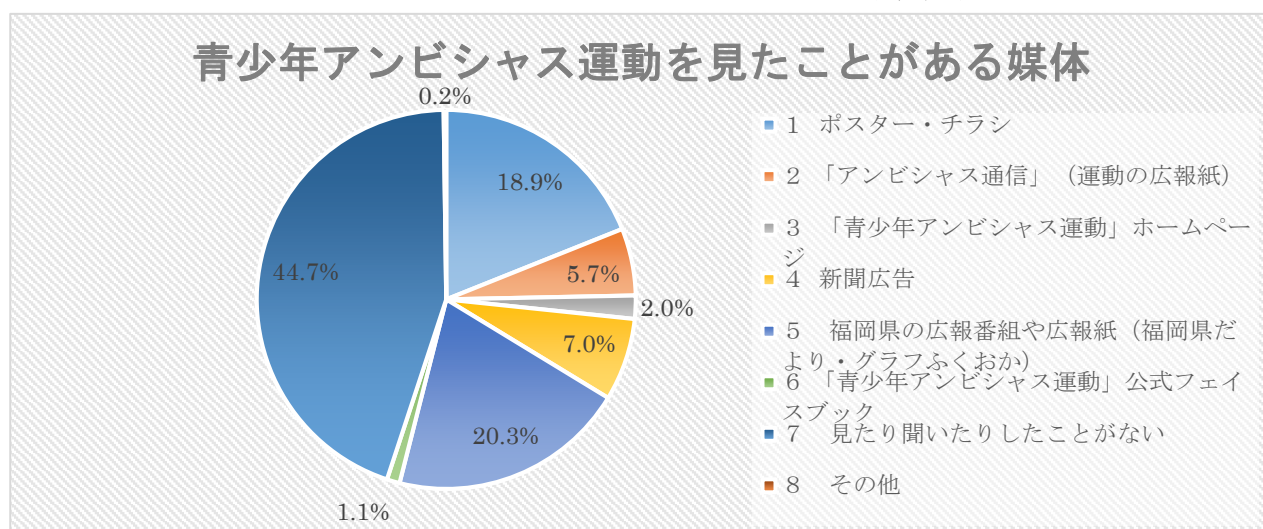
設問	回答数	割合
1 自分がボランティアとして参加している	2	1%
2 子どもが行ったことがあり、よく知っている	12	3%
3 名前だけは知っている（聞いたことがある）	120	33%
4 知らない	224	62%
5 その他	2	1%
総計	360	100%

【その他の回答】

- ・小学生の頃に、参加したことがある。
- ・自分が小学生の時に利用したことがある。
- ・大人（親）と子供と一緒に行動できる行事を広く展開する又地域間で青少年の交流できる場所と機会を計画する



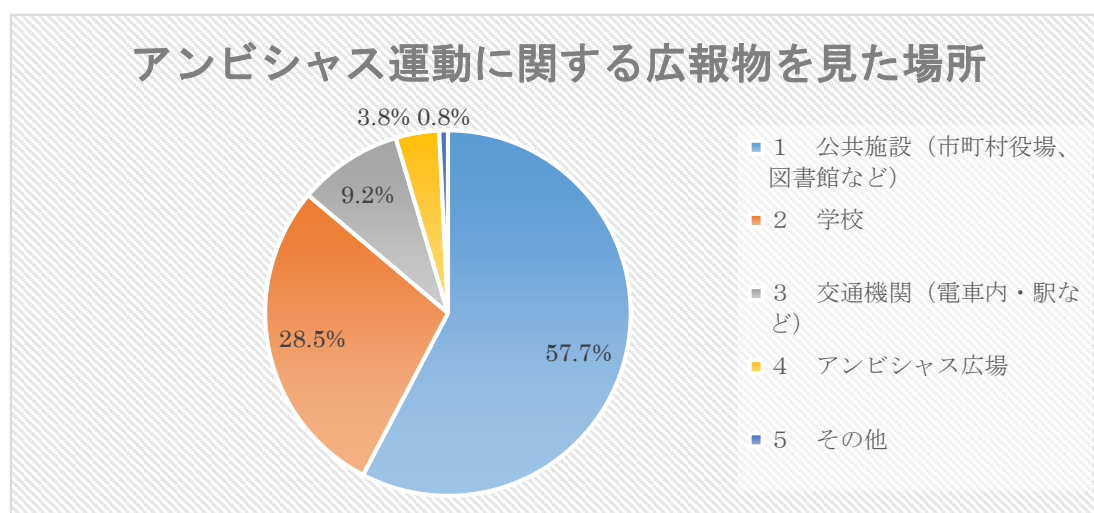
〈3〉「青少年アンビシャス運動」に関する広報で、これまでに見たり聞いたりしたことがあるものをすべて選んでください。【選択/複数回答可】



設問	回答数	割合
1 ポスター・チラシ	86	19%
2 「アンビシャス通信」(運動の広報紙)	26	6%
3 「青少年アンビシャス運動」ホームページ	9	2%
4 新聞広告	32	7%
5 福岡県の広報番組や広報紙(福岡県だより・グラフふくおか)	92	20%
6 「青少年アンビシャス運動」公式フェイスブック	5	1%
7 見たり聞いたりしたことがない	203	45%
8 その他	1	
総計	454	100%

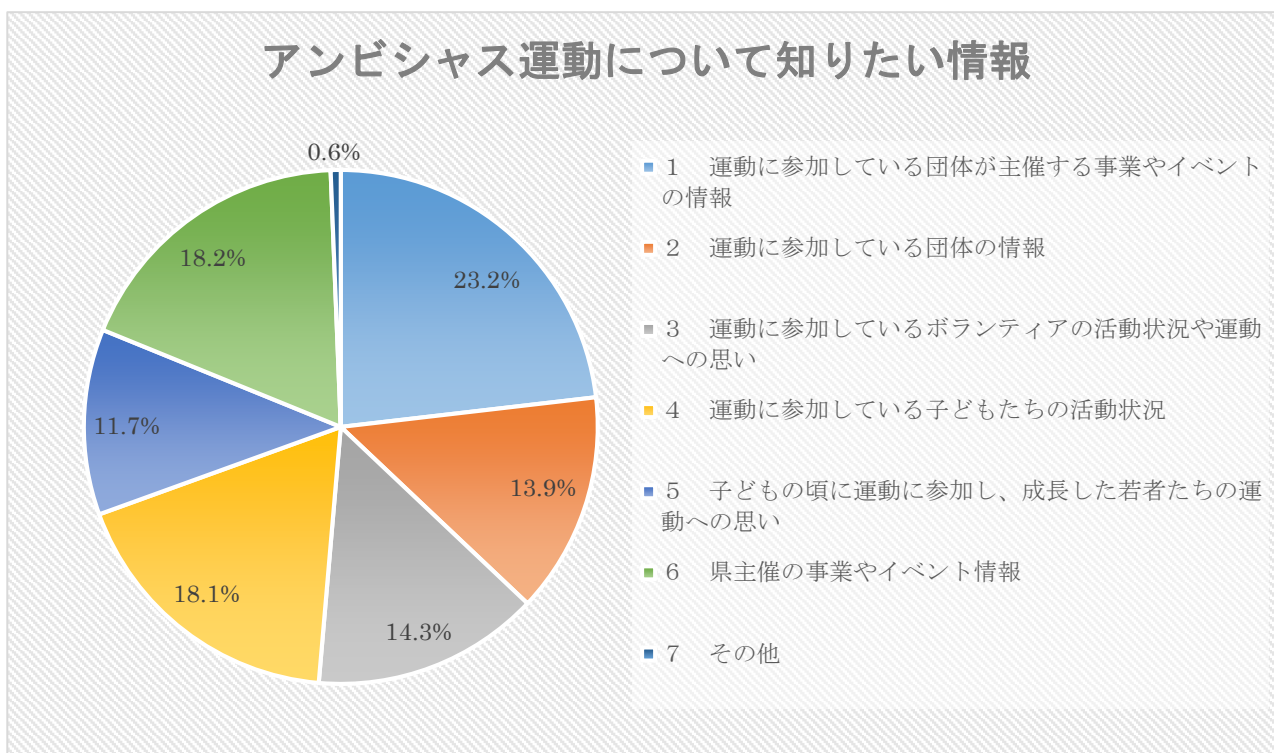
〈4〉ポスターまたはチラシをどこで見ましたか。【選択/複数回答可】

※回答は、〈3〉で「ポスター・チラシを見たことがある」と答えた方 (回答件数=86)



設問	回答数	割合
1 公共施設(市町村役場、図書館など)	75	57.7%
2 学校	37	28.5%
3 交通機関(電車内・駅など)	12	9.2%
4 アンビシャス広場	5	3.8%
5 その他	1	0.8%
総計	118	100%

〈5〉青少年アンビシャス運動について知りたい情報 【選択/複数回答可】

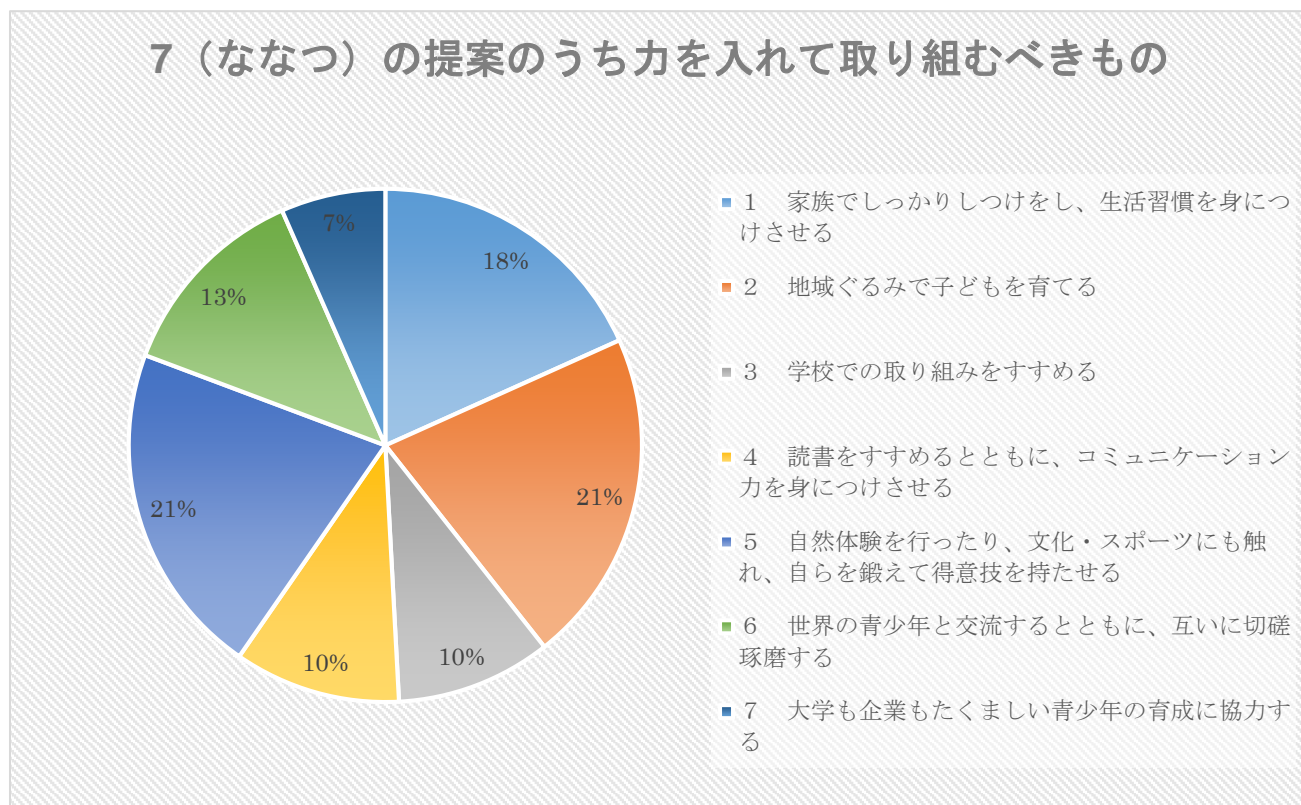


設問	回答数	割合
1 運動に参加している団体が主催する事業やイベントの情報	220	23.2%
2 運動に参加している団体の情報	132	13.9%
3 運動に参加しているボランティアの活動状況や運動への思い	136	14.3%
4 運動に参加している子どもたちの活動状況	172	18.1%
5 子どもの頃に運動に参加し、成長した若者たちの運動への思い	111	11.7%
6 県主催の事業やイベント情報	173	18.2%
7 その他	6	0.6%
総計	950	100%

【その他の回答】

- ・アンビシャス広場の詳細、利用方法
- ・そもそもどんな活動なのかが全くピンとこない。全体像と、生活に直結する情報があれば知りたい。

〈6〉青少年アンビシャス運動では、「豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つたくましい青少年の育成」のために、具体的な活動目標として、以下の「7（ななつ）の提案」を掲げて展開していますが、特に力を入れて取り組むべきと思われるものはどれですか。【選択/回答は3つまで】



設問	回答数	割合
1 家族でしっかりしつけをし、生活習慣を身につけさせる	183	18%
2 地域ぐるみで子どもを育てる	211	21%
3 学校での取り組みをすすめる	98	10%
4 読書をすすめるとともに、コミュニケーション力を身につけさせる	105	10%
5 自然体験を行ったり、文化・スポーツにも触れ、自らを鍛えて得意技を持たせる	211	21%
6 世界の青少年と交流するとともに、互いに切磋琢磨する	127	13%
7 大学も企業もたくましい青少年の育成に協力する	66	7%
総計	1,001	100%

〈7〉上記「7（ななつ）の提案」以外で、特に力を入れるべきと思われるものがあれば、教えてください。【自由記述】

- ・自分の個性を大切に出来るように、自己肯定を高めるような活動・直接の効果ではありませんが、宗像市地の島では漁村留学に取り組んでいます。このような取り組みにもアンビシャスの啓発もリンクすることもよいと思う。直接的な教育も大事だが違った取り組みとリンクさせると横の広がりが増すと思う
- ・ゴミを捨てない教育。自分が使った物のあとのゴミがどのようになるのかに思いを寄せることができるならば、自分の発言や行動がどういう影響を及ぼすのかを考えることができる筈。それは、苛めやSNSでの無責任発言を失くすことにも繋がる。ゴミをポイ捨てしない人間を作ることが先決。
- ・個人の体験内容の発表会を開催してお互い情報交換をすることにより幅広い知識を得るようにする。
- ・日本の正しい歴史を知り日本の言語を大切に、伝統工芸を受け継ぎ県民の知識向上に役立てる。
- ・物事を考える力、思考の組み立て力を育てること。

- ・ 他者への慈悲、思いやりの心を育むような活動
- ・ 個性を伸ばす機会の創出。例えば地域の人材活用し、学習の機会を持つ事。テーマはなるべく専門的に、幅広く設定する必要がある。
- ・ 国内及び国外の芸術文化に子供の頃から触れることで、感性を磨き、多角的な視野を持ち、豊かな発想力や創造力を養う
- ・ 動物愛護の心を育てる
- ・ SNS 等の正しい使い方を身に着けさせる 等

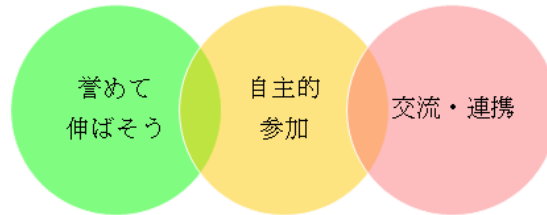


青少年アンビシャス運動

豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つ（アンビシャスな）たくましい青少年の育成を目指す福岡県の県民運動です。

子どもたちのかけがえのない個性を尊重し、その能力や可能性を伸ばしていくため、地域・家庭・学校・企業など、まず、大人が意識を変えて、子どもたちのためにそれぞれができることから取り組もうというものです。

○ 運動の三原則



○ 7（ななつ）の提案

- 1 家族でしっかりしつけをしよう！
- 2 地域ぐるみで子どもを育てよう！
- 3 学校でアンビシャス運動を進めよう！
- 4 読書をしよう！
- 5 自らを鍛え、得意技を持とう！
- 6 世界の青少年と切磋琢磨しよう！
- 7 大学も企業もアンビシャス運動に協力しよう！



○ 事業内容

■ アンビシャス広場

地域ぐるみでアンビシャスな子どもを育てるため、地域の公民館や集会所、学校の空き教室などを活用した子どもの居場所として、「アンビシャス広場」を設置しています。



■ アンビシャス・青年リーダー

研修会や広場訪問等の活動を通じて、幅広い視野と見識を持って、自主的・継続的に青少年アンビシャス運動に参加する青年リーダーを養成しています。



■ アンビシャスカレンダーの頒布

家庭のしつけの推進を図るため、「こんげつのチャレンジ」を記入し、家族みんなでチャレンジできる「青少年アンビシャスカレンダー」を頒布しています。

<問い合わせ先>

人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課

TEL : 092-643-3615

E-Mail : ambitious@pref.fukuoka.lg.jp